

「令和3年度 とやま水土里フォーラム」の開催

富山県と富山県土地改良事業団体連合会との主催による「令和3年度とやま水土里フォーラム」が、令和4年1月20日（木）富山国際会議場メインホールにて、土地改良関係者、県・市町村等 約350人が参加して開催されました。

主催者を代表して、新田八朗知事、鹿熊正一県土連副会長から開会の挨拶があり、続いて来賓の石川善成農林水産省北陸農政局長、武田慎一富山県議会副議長、藤井裕久富山市長の祝辞がありました。



次に県知事表彰があり、土地改良施設の維持管理や、多面的機能の発揮のための活動に取り組む、他の模範となる団体および個人に対して「とやま水土里賞」が新田知事から授与されました。



受賞されたのは、次の2団体と3個人の方々です。おめでとうございます。

■団体

- ・三ヶ地区ほ場整備委員会（魚津市）
- ・秋ヶ島用水組合（立山町）

■個人

- ・瀧本 敏 氏（入善町）
- ・清水 宗康 氏（富山市）
- ・堀元 榮信 氏（南砺市）

つづいて、とやま水土里賞の団体受賞者である、三ヶ地区ほ場整備委員会（発表者：高島孝成 委員長）と秋ヶ島用水組合（発表者：山崎 正雄 代表）から事例発表が行わ

れました。次に基調講演に入り、椿 一雅氏（（一社）農村振興センターみつげ事務局
長）から本フォーラムのテーマとなる「田んぼダムの推進について」と題し講演されま
した。

新潟県見附市役所を退職後、田んぼダムが全国的に注目される中で広範囲において
取り組んできた内容や受益農家への多面的機能支払交付金事業との取り扱いなどその
メリット・デメリットや取り組み効果について講演をされました。また、R3年度から
「水田の持つ雨水貯留機能の活用に向けた検討会」の委員に選任し『手引き策定』に動
いている報告もありました。



一方、会場3階ホワイエでは「とやま水土里賞受賞」も活動内容、「田んぼダム」や
「各農林振興センター・県土連」における取り組みを紹介するパネル展示があり全日
程を終了しました。

